

## フィリピン通信子会社 InfiniVAN、大成建設株式会社とともに、同国東岸の Baler に新たな海底ケーブル陸揚局を建設するプロジェクトに着手

フィリピンにおいて電気通信事業を手掛ける当社子会社 InfiniVAN, Inc.（以下「InfiniVAN」）は5月9日、フィリピン東岸の Baler における新たなケーブル陸揚局建設プロジェクトを始動いたしました。これに伴い、一部作業を先行して実施する TAISEI PHILIPPINE CONSTRUCTION, INC.（大成フィリピン建設）との最終契約に先立ち、首都マニラにて署名セレモニーを執り行いました。

急増するインターネットトラフィック需要に対応するため、InfiniVAN は、フィリピンにおける通信ネットワークの拠点整備を推進しております。

今回の陸揚局建設は、全国展開の更なる加速と、オープンアクセス型通信インフラの基盤構築を図るものであり、Baler 陸揚局は、以下のような地理的・戦略的利点を備えています：

- フィリピン北部ルソン島の東海岸に位置し、国際海底ケーブルのオープンアクセス（キャリア中立）な陸揚げを可能とするロケーション。既に見込顧客との商談が進行中
- 南シナ海の「九段線」の海域を避け、日本・米国等の太平洋方面からのアクセスが容易
- フィリピンの通信インフラを強靱化し、災害や地政学リスクに強い社会基盤を構築
- 将来的には、AI データセンター併設を視野に入れた拠点開発も構想



セレモニーで握手する、InfiniVAN の宮下幸治 Chairman（左）と TAISEI PHILIPPINE CONSTRUCTION, INC. の入江宏起 President



Baler・・・今回の建設予定地  
Nasgbu・・・C2C 回線の陸揚局が所在  
Batangas と Lucena・・・PDSCN の陸揚局が所在

TAISEI PHILIPPINE CONSTRUCTION, INC. (大成フィリピン建設) について  
1989年から現地法人「大成フィリピン建設」の事業を開始。30年以上にわたり、フィリピンに進出した  
日系企業の事務所や工場建設などを支援。フィリピン初の地下鉄事業も一部工区を受注している。

InfiniVAN, Inc.について  
社会課題である通信インフラの地域間格差是正に取り組む。2023年にPDSCNが完成し、2024年には  
セブ市にオフィスを新設。ビサヤ・ミンダナオ地域を含むフィリピン全土へサービスを拡大している。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地4丁目1番1号 東劇ビル8階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR課 03-3549-7719